

# INDOOR/OUTDOOR

## PTZミニスピードドームカメラ

# 取扱説明書 NS-901PRC



NS-3000N

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

**このたびは本商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
ご使用前に、『安全上のご注意』を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。**

保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使  
いください。

お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みくだ  
さい。



## PELCO-D / Pの拡張機能

このドームカメラは他のどんなDVRからでも簡単に制御できるようにファンクションキーを提供しています。

キー	機能
61～68+プリセット	スキャン呼び出し
71～78+プリセット	ツアー呼び出し
81～88+プリセット	パターン呼び出し
90+プリセット	エンター
91+プリセット	ホーム呼び出し
92+プリセット	クリアー
95+プリセット	メニュー

## 安全上のご注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。



この記号は高電圧が存在するので人体に感電の恐れ・危険があることを警告するマークです。



この記号は、誤った扱いをしたときに人体に損傷を与えたり、器物に損傷をあたえる可能性があることを警告するマークです。

1. 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの(DC12V)を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
2. カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険があります。
3. 濡れたままでまたは埃をかぶった状態で使用しないでください。製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する危険があります。
4. 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
5. 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
6. トップカバーをはずしたり、分解したりすると故障の原因となります。
7. 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
8. 万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
9. カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光がはいるところでは使用しないでください。故障の原因となります。

### 免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。
- **弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。修理、設定、などについてはセンドバック方式にて対応させていただきます。**

## 目次

安全上のご注意	2
目次	3
簡易設定	4
接続と配置	5
基本的な接続	5
スイッチ設定	6
ボーレート	7
NS-901PRCの操作	8
メインメニューの起動	8
名前を編集する	8
メニュー画面のシステム	9
情報	9
再起動	9
工場出荷時	9
イベントログ	10
パスワード	10
ディスプレイ	11
OSD設定	11
エリアタイトル	12
● プライバシーゾーン	12
表示画像設定	13
ドーム	14
一般設定	14
動作	15
ホーム	16
プリセット	16
ツアー	17
パターン	18
スキャン	19
カメラ	19
フォーカス/ズーム	19
ホワイトバランス	20
露光	21
カメラ設定	21
アラーム	22
天井直付け実装	24
屋外壁付け/天井実装	28
仕様	31
保証書	32
保証規定	33

# 簡易設定

## ステップ1



開梱したら内容物を確認してください

## ステップ2



パンチルトを固定しているホルダーネジを取り外す

レンズカバーも取り外す



## ステップ3

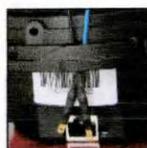


本体裏面のディップスイッチでカメラIDを設定します。  
(このカメラのIDは01に設定されています)  
\*カメラを1台だけ使用する場合はID設定は不要です。  
\*2台以上のカメラを使う場合、それぞれのカメラにちがうID(番号)を振ってください。  
(設定の仕方はマニュアルにあります)

## ステップ4



アクリルドームカバー側にあるヒーターケーブル2本を本体の穴に通します。



## ステップ5



3本のビスと六角レンチ(同梱)を使ってカメラ本体とドームカバーを接続します

## ステップ6



カメラソケット側のヒーター端子とドーム側のヒーターを接続します。



## ステップ7



RJ-45端子のケーブルを接続します。(LANケーブル状の端子)アラームを使用する場合はアラームカバーを外してアラームターミナルにアラーム端子を接続します)



アラーム端子カバー

## ステップ8



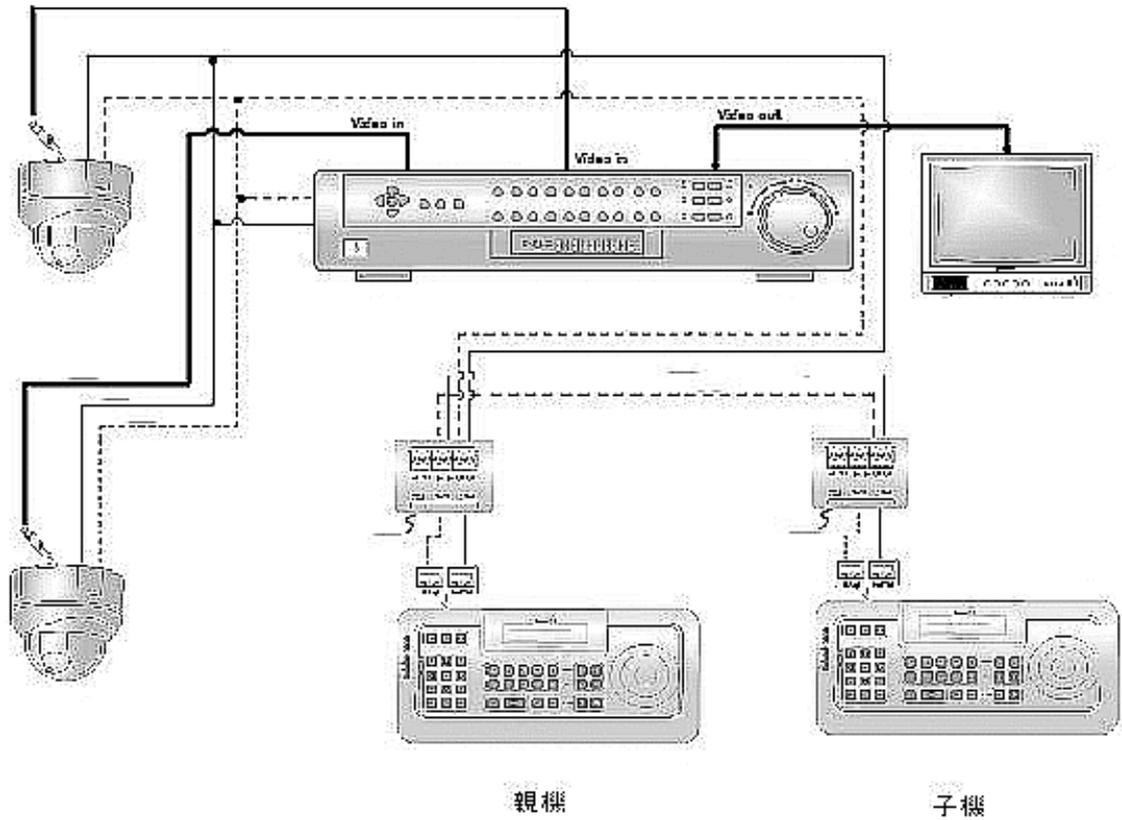
ケーブルの設定が終わったらカメラ本体とカメラカバーユニットを合体させます。

## 電源供給

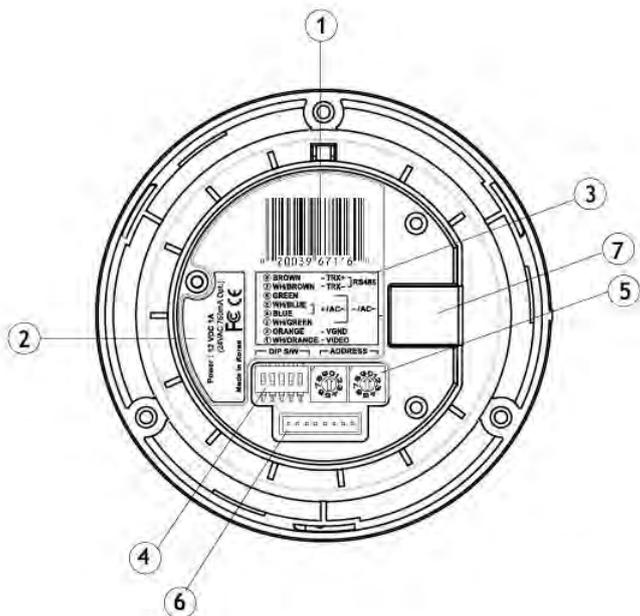
DC12V	カメラ	DC12V2A
	ヒーター	DC12V1A
AC24V	カメラ	AC24V1.5A
	ヒーター	DC12V1A

## 接続と配置

### 基本的な接続



### 背面



- ① シリアルナンバー
- ② モデル名・電源ラベル
- ③ 端子の説明
- ④ プロトコル・バンドレートのディップスイッチ
- ⑤ アドレス切り替え
- ⑥ アラーム イン/アウト
- ⑦ RJ-45メスコネクタ

## スイッチ設定

設定をする前に、このマニュアルに記載されているようにスイッチを設定してください。

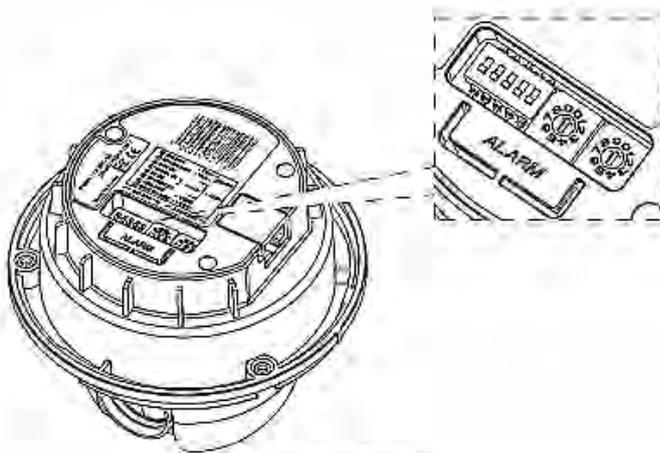


図1. スイッチ

ロータリースイッチを使用して、1～99のアドレスを設定してください。

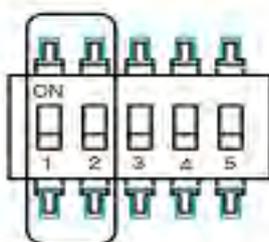
(たとえば、No8を設定したいときは左側の0番、右側の8番の両方ロータリースイッチを確認してください)

99以上のアドレスの場合には、仮想アドレスを使用することができます(49頁を参照してください)

プロトコル:

ドームシステムと通信するためにペルコ-D、ペルコ-Pまたは標準的なプロトコルを使えば、スイッチはセットする必要はありません。ユニットは自動的にプロトコルを検索設定します。

詳細は表A



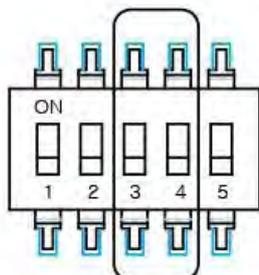
表A プロトコル

スイッチ 1	スイッチ 2	プロトコル
off	off	標準, ペルコ-D, ペルコ-P, その他. 自動検出.
off	on	保存
on	off	保存
on	on	保存

## ボーレート

ボーレートの規定値は2400bps. 表Bを参照

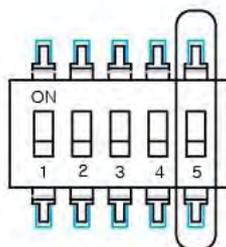
〈表B ボーレート〉



スイッチ3	スイッチ4	ボーレート(bps)
off	off	2400 (初期規定値)
off	on	4800
on	off	9600
on	on	38400

## 終端設定 (Termination)

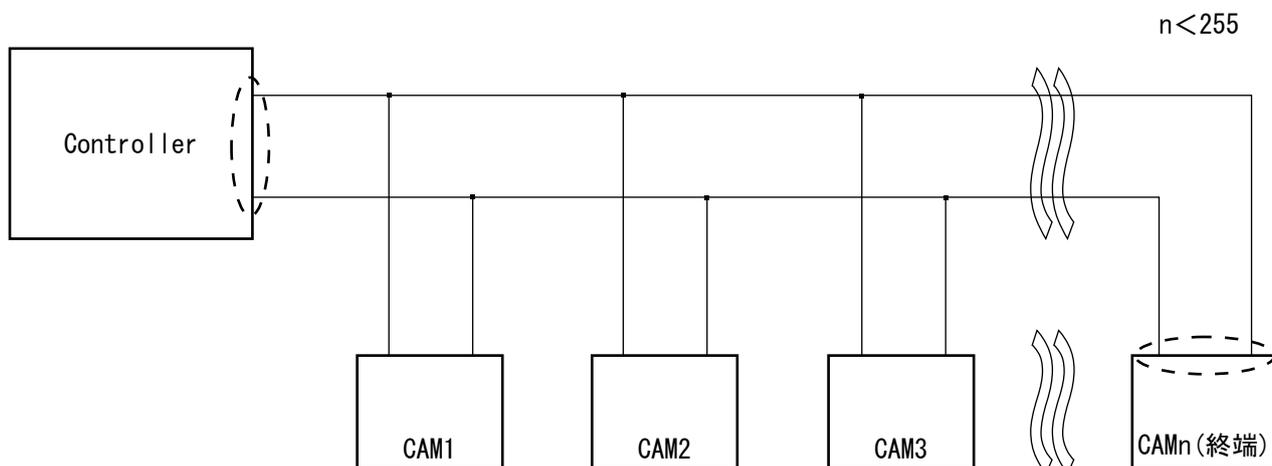
表C参照.



〈表C. ボーレート〉

スイッチ5	終端設定
Off	終端として接続していません。
on	終端として接続しています。

ミニスピードドームシステムはRS485インピーダンスに整合しています。



# NS-901PRC(およびNS-3000N)の操作

このマニュアルは、NS-901PRCおよびNS-3000Nの設定、プログラミング、およびシステムの運用のための解説書です。

## 基本操作の説明

### 制御法

パン/チルト……ジョイスティックを上下左右に動かすと回転(パン)首振り(チルト)動作をします。

ズーム/ワイド……ジョイスティックを左回りにまわすとズーム(望遠)、ワイド(広角)動作をします。

プリセット……予め設定されたポジションのこと

ツアー……プリセットまたはスキャンされた位置に巡回動作

パターン……手動で操作したカメラの動き(パン・チルト・ズーム)を記録登録する機能。

スキャン……設定された2点の間を水平方向にオートパンします。

プライバシーゾーン……撮影範囲内の特定の場所をマスキング(目隠し)できる機能

以下カメラが1台のときの説明です。カメラは設定により1台～255台まで設定できます。

NS-3000Nの表示画面でカメラIDと現在のプロトコル(ペルコ-Dなど)を確認してください。

カメラ2台目からもIDを切り替えて以下と同様の作業です。

[WDS PEL-D 2.4K]  
ID : 001

## メインメニューの起動

キーボードコントローラNS-3000Nの「MENU/AUTO」ボタンを長押し(2秒)します。

モニターにOSDメニュー(メインメニュー)が表示されます。



## TITLE名前を編集する場合

TITLE:

ABCDEFGHIJKLMNOP  
QRSTUVWXYZabcdefghijklmnop  
Hijklmnopqrstuvwxyz  
0123456789<>/-:

■ Select: <MOVE>

■ Set/Clear: <TELE/WIDE>

■ Save : <ENT><OPEN>

■ Exit : <CLR><CLOSE>

\*この名前編集はOSDのセットアップでカメラの名前/パターン名/スキャン名/プリセット名/エリア名など個別に特定するときを使用することができます。

名前の編集:

1. ジョイスティックを使ってTITLEの横にカーソルを持ってきます。
2. ジョイスティックを右に動かすとモニターに表示されます。
3. ジョイスティックの左右・上下を使用して文字を選びます。「TITLE」ボタンを押したりジョイスティックを時計回りに回したりして文字を入力します。
4. プレス[ワイド]ボタンやねじれ、ジョイスティックの文字を削除するには反時計回りに。「WIDE」ボタン

を押したりジョイスティックを反時計回りに回したりして文字を消去します。

5. 指示は、モニター上に表示します
6. 名前が完了したら、「ENT」ボタンまたは「IRIS OPEN」を押して前のメニューに戻ります。
7. 名前を削除したいときは、「CLR」または「IRIS CLOSE」のボタンを押して前のメニューに戻ります。

## <メニュー画面のシステム>

### INFO（情報）

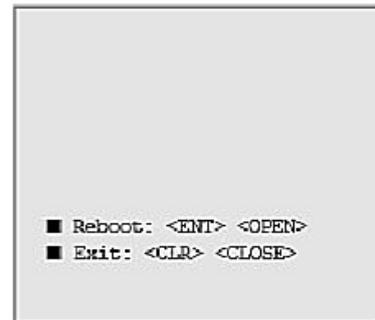
システムはシリアル番号/機種名/現行バージョン/プロトコル/通信の種類/アドレススイッチ番号/温度が表示されます



### Reboot（再起動）

システムを再起動する場合は、動作していないか、またはコントロールが作動していない場合です。ドームのプログラム設定を変更することなく、システムは再起動します。

1. 再起動のシステムは「ENT」または「OPEN」を押す  
キャンセルするには「CLR」または「CLOSE」



### FACTORY（工場出荷時）

工場出荷時の規定値にすべてのカメラの設定をリセットするには、この機能を使用します。工場出荷時の規定値へ特定の設定をリセットすることができます。

1. 「ENT」ボタンを押すか、カーソルを<SAVE and exit>に移動して、ジョイスティックを右に動かします

ALL：すべてのアイテムを復元（CAM/PRESET/TOUR/PATTERN/SCANの設定）

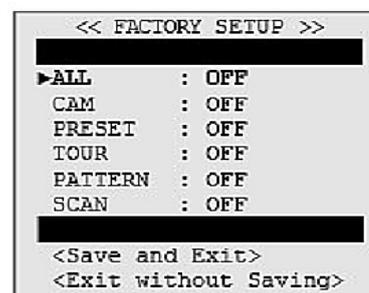
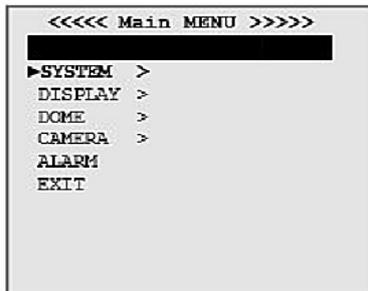
CAM：カメラの設定に関するリセット。

PRESET：プリセットのリセット

TOUR：ツアーのリセット

PATTERN : パターン保存をリセット.

SCAN: スキャン保存項目をリセット.



## EVENT LOG (イベントログ)

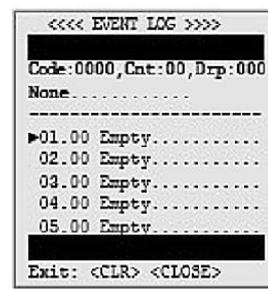
イベントログは、現在のドームカメラの状態やイベントログを示しています。

ドームカメラの何か問題を検出すると、エラー信号が表示され、EEPROMにログを保存します。

セルフテストを実行して、ドームの状態を監視したり、イベントを保存します。

画面でEVENT LOGを表示するには、次の手順を実行します：

1. ジョイスティックを使ってSYSTEMを選択.
2. ジョイスティックでSYSTEMのサブメニューのEVENT LOGを選択.  
コード:< number>カメラの操作中に発生したエラー番号を意味します  
上下にジョイスティックを使用してスクロールすると、操作中に、エラーの種類が何かを発見できます.
- 3.[ESC] か [IRIS CLOSE]キーを押すと前のメニューに戻ります



## PASSWORD (パスワード)

ドームカメラの設定に不正な変更を防ぐためにパスワード保護機能を備えています。管理者以外は設定メニューにアクセスすることはできません。

キーボードがプリセット、パターン、またはゾーンを設定するために使用される場合は、コントローラ/キーボードコマンドのパスワードを上書きすることはできません。

パスワードの入力画面がモニターに表示されます。

パスワードはプログラミングする前に入力する必要があります。

有効な4文字のパスワードを入力する必要があります。

パスワードを設定するには、次の手順を実行します：

1. ジョイスティックでSYSTEMのサブメニューのPASSWORDを選択.
2. ジョイスティックの左右を使って番号を選択「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわして入力  
この手順を繰り返します 現在/新しい/確認のパスワード.
3. 設定を有効にする(ENABLE):ENABLED

### 注

-最初のパスワードは"0000"です

<SYSTEM:FACTORY工場出荷時>を選択して初期化すると、パスワードが削除されます。



## <ディスプレイ>

### OSD SETUP (OSD設定)

OSD(オンスクリーンディスプレイ)でセットアッププログラムをモニターに表示することが出来ます。

次の画面表示をご利用いただけます::

**TITLE** エリア識別とタイトル操作.

**TIME** 時間を識別.

**ZOOM** 拡大率を指定.

**ID** ドームカメラのアドレスを識別.

**MODE** ドームカメラの操作モード識別.

**ANGLE** 0°からのパン/チルト率.

ズーム拡大率表示はズームが起動していないときは表示されません.

それぞれの画面表示で次の設定をご利用いただけます:

**OFF** 画面表示は表示されません.

**ON** 画面表示は継続的に表示されます.

**xx SEC** 画面表示は起動後XX秒間表示されます.

画面表示の場所は、モニター上に任意に配置することができます。この機能は、モニタ画面の外観をカスタマイズすることができます

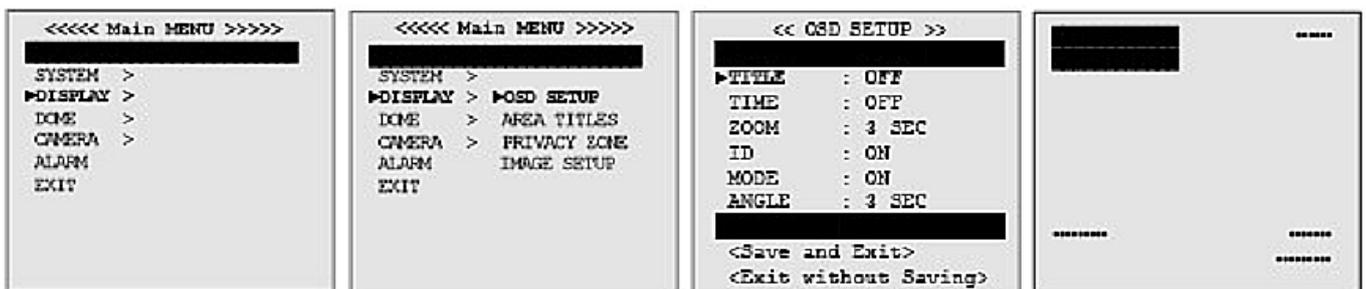
画面表示の設定

1. ジョイスティックを使ってDISPLAYを選択し、OSD SETUPを選択
2. 「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわす
3. ジョイスティックを使って画面表示(label)を上下左右に動かす。
4. [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押す。
5. 他の画面表示を決めるには1から4を繰り返す。
6. 設定を保存してメニューに戻るには <Save and Exit>を選定。
7. 設定を保存しない場合は<Exit without saving>を選定。

### 注

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります



ジョイスティックを時計回りにまわす  
または「TELE」ボタンを押す

## AREA TITLES (エリアタイトル)

ゾーンとは、パンの左右の限界を表す横旋回のエリアです。  
ドームシステムはそれぞれ12文字の表示を持つ8エリアのタイトルを表示できます。

### ゾーンの設定

1. ジョイスティックを使ってDISPLAYを選択し、AREA TITLLEを選択
2. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxxの位置にします。左右に動かしてゾーンIDを選択。「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわしてSTARTを設定しパンの限界角度を決めます。
3. ジョイスティックを動かして限界の角度のスタート位置で「ENT」または「IRISOPEN」を押し、開始位置を保存します。
4. ジョイスティックを動かして限界の角度のスタート位置で「ENT」または「IRISOPEN」を押し、終了位置を保存します。
5. タイトルを編集して [TITLE EDIT] の詳細を見ます。

### エリアタイトルの消去

1. MENUキーを押してください(38ページのメインメニューへのアクセスを参照)
2. ジョイスティックを使ってDISPLAYを選択し、AREA TITLLEを選択
3. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxxの位置にします。左右に動かしてゾーンIDを選択。
4. 「WIDE」キーを押すかジョイスティックを反時計回りにまわしてエリアを消去します。

### 注

-エリアタイトルを保存したのち、<DISPLAY:OSD SETUP>の中のTITLEメニューに移動してエリアタイトルを見ます。

### 注

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります



ジョイスティックを時計回りにまわす  
または「TELE」ボタンを押す

## PRIVACY ZONE (プライバシーゾーン)

プライバシーゾーンは、あらかじめ設定された4画面の領域をオペレータが見ることができなくするプログラムを設定できます。

望遠レンズであって広い状態でズームするときでも、設定領域は、パンとチルトと共に動いて自動的に適応します。

1. Group no : グループIDを識別します。1~8領域
2. No. xxx : プライバシーゾーンIDを識別します。1~4
3. Mode : DSABLE - プライバシーゾーンを無効にします。  
BLOCK - プライバシーゾーンを有効にします。

4. Privacy Mask : マスクのサイズを調整
  - 3-1 : PAN/TILT -位置を調整
  - 3-2 : TELE - マスクのサイズを拡大
  - 3-3 : WIDE - マスクのサイズを縮小

#### プライバシーゾーンの設定

1. MENUキーを押してください(19ページのメインメニューへのアクセスを参照)
2. ジョイスティックを使ってDISPLAYを選択し、PRIVACY ZONEを選択
3. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxxの位置にします。左右に動かしてゾーンIDを選択。「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわしてゾーンを決めます。
4. 入力されたら画面に表示されます。
5. プライバシーゾーンのメニューが( )で再表示されます

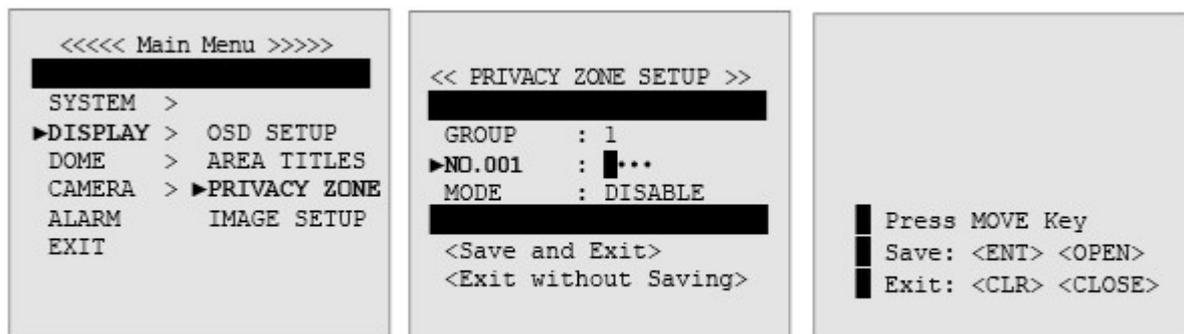
プライバシーゾーンを無効または消去(ゾーンが設定されているとき):

1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxxの位置にします。左右に動かしてゾーンIDを選択。
2. 「WIDE」キーを押すかジョイスティックを反時計回りにまわしてエリアを消去します。

#### 注

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります

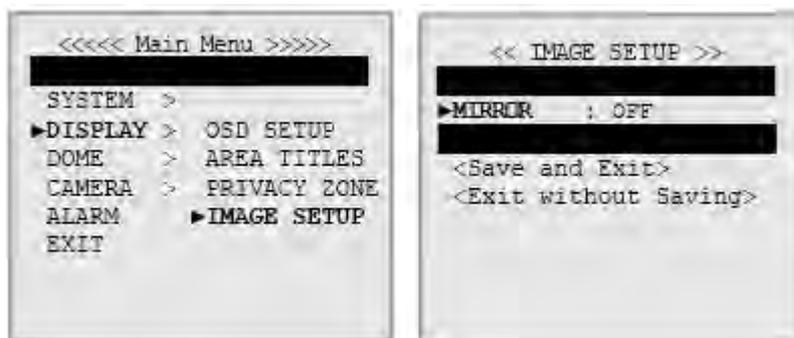


ジョイスティックを時計回りに回す  
または「TELE」ボタンを押す

#### IMAGE SETUP (表示画像設定)

このメニューで表示画像の設定を変更することができます。

次の4つの表示画面がご利用いただけます:



OFF 通常の画面

H.MIRROR 左右反転画面

V.MIRROR 上下反転画面

REVERSE 左右上下裏返し画面

## 表示画像設定

1. ジョイスティックを使ってDISPLAYを選択し、IMAGE SETUPを選択
2. 希望の画像を選択

## 注

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります

## <ドーム>

### GENERAL SETUP (一般の設定)

このメニューは、ドームカメラの機能に関する一般的な制御法です。詳細の説明は以下の通りです。

#### BACKUP TASK(バックアップタスク)

ドームIDはアドレススイッチで一般に割り当てられますが、このメニューを使用して、S/WでドームIDを割り当てることができます。

#### BACKUP TASK

この設定はプリセット、ツアー、パターン、およびスキャンを明確にします。

ドームが動き始め、アラームが発生後にイベントを実行する場合動作します。

以下の設定は利用可能です:

**OFF** 稼働しません。

**ON (default)** カメラは前のワークを再開します。

#### TURBO SPEED(ターボスピード)

この設定はパンチルトの手動を稼働します。

以下の設定は利用可能です:

**OFF (default)** 最大速度は1秒あたり90度です。

**NO** 最大速度は1秒あたり400度です。

#### \*注

-ターボスピードは手動操作のみ適用され、プリセットやパターンその他は適用されません。

#### PRESET SPEED(プリセット速度)

このメニューでプリセットを最適化します。

3つのオプションがあります:

**FAST:** 400° /秒

**NORMAL:** 300° /秒

**SLOW:** 200° /秒

#### SELF TEST(セルフテスト)

この設定は活動の不具合を監視します。

カメラがいくつかの問題に当たると、エラー信号を表示します。

設定は以下利用可能です:

**OFF(規定)** セルフテストを可能にします。

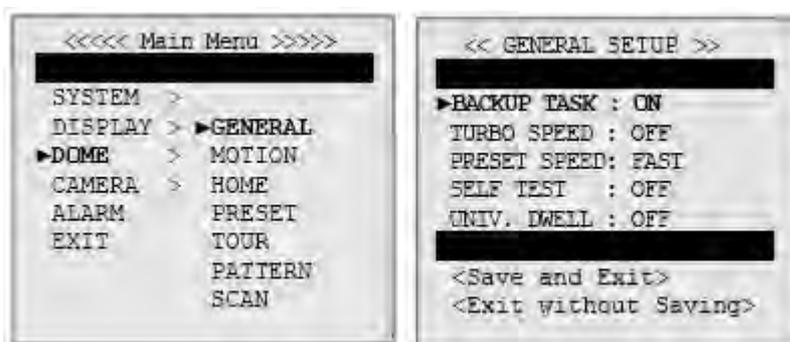
**ON** セルフテストはできません

#### UNIV. DWELL (UNIVERSAL DWELL TIME) 世界標準時間

カメラの他の機能(プリセットやスキャンその他)に関係なく普遍的世界時間が設定されます。

**OFF** 標準時間を無効にします

**3~239** この範囲で標準時間を設定します。



## MOTION (ドームの動作)

### 比例速度パンチルト

パンチルトは、自動的にズームに比例してパンチルト速度を落としたり上げたりします。望遠ズームを設定したとき、パンチルト速度は広いズーム値で指定されるジョイスティック操作では、より遅くなるでしょう。

2つの比例しているパンチルトがあります:

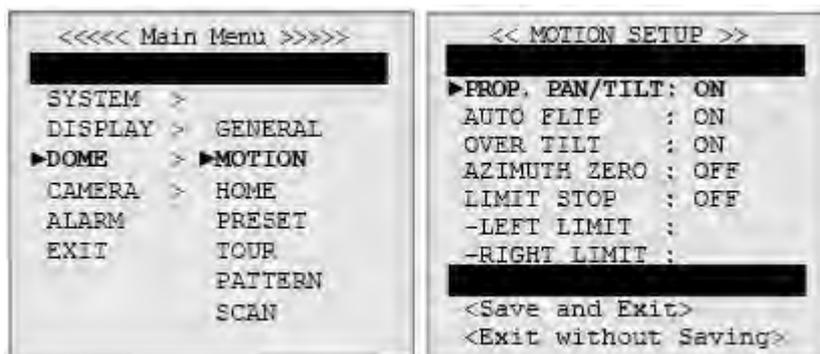
**ON (規定)** 比例速度パンチルトモードが可能です。

**OFF** 比例速度パンチルトモードはできません。パンチルトモードはズーム量に対して追従しません。

### 自動フリップ

カメラが下向きにチルトして、まさしく垂直な位置を越えるとき、ドームは180度回転します。

ドームが回転するとき(反転)、ジョイスティックが下向き位置であってもカメラは上方に動き始めます。ドームが回転した後に、いったんジョイスティックを放すと、ジョイスティック制御装置は通常操作に戻ります。



**ON (規定)** 自動フリップモードが可能です。

**OFF** オートフリップモードはできません

### チルト角度

カメラの外枠が天井で視界がカットされる場合、このメニューで水平な視野角を制限してください。

**ON**は最小のチルト角を45度に制限します。

### 方位ゼロ

方位ゼロは0° から359° に対するパン角度です。方位ゼロは 0° のポイントになるように指定するパン位置です。通常、方位ゼロは北に設定されます。いったん設定されると、方位はゼロポイントが指す位置に基づきます。

方位ゼロを設定:

1. ジョイスティックを使ってカーソルをAZIMUTH ZEROの位置にする。
2. [TELE] を押すかジョイスティックを時計回し
3. モニター上に表示されます

方位ゼロを消去:

1. ジョイスティックを使ってカーソルをAZIMUTH ZEROの位置にする。
2. [WIDE] を押すかジョイスティックを反時計回し

### 限界停止機能

限界停止は、ドームのパン範囲を制限するプログラムです。

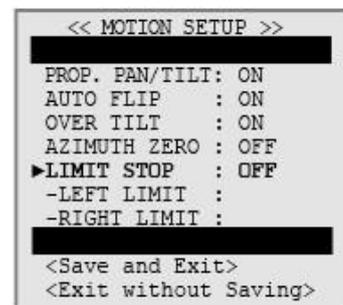
領域を決めるために、左、および右の2つの限界があります。限界停止位置に達しているときは手動(ジョイスティック)操作はパンを停止します。

限界停止を設定:

1. ジョイスティックを使ってカーソルをLIMIT STOPの位置にする。
2. [TELE] を押すかジョイスティックを時計回し
3. モニター上に表示されます

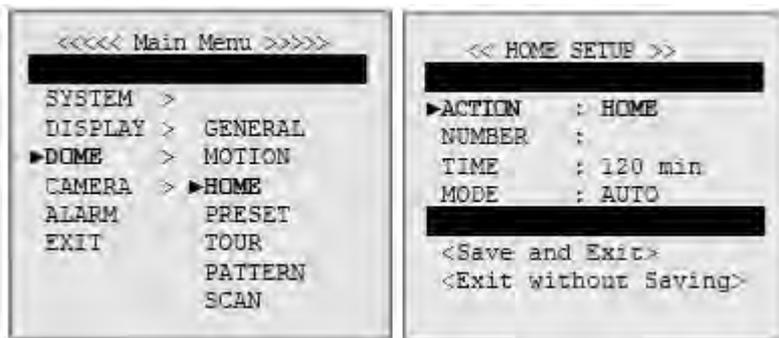
限界停止を消去、限界停止モードをオフ

1. ジョイスティックを使ってカーソルをLIMIT STOPの位置にする。
2. [WIDE] を押すかジョイスティックを反時計回し



## HOME (ホーム)

この機能は、どんな動作がアイドリング後に実行されるかを決定します。



### アクション/番号 (ACTION / NUMBER)

プリセット[NUMBER] ドームはプリセットの「NUMBER」に進みます。

ツアー [NUMBER] ツアーの「NUMBER」を実行します。

パターン[NUMBER] パターンの「NUMBER」を始めます。

スキャン [NUMBER] スキャンの「NUMBER」に進みます。

#### \*注

-プリセット、ツアー、パターン、スキャンを呼び出すには、最初にそれぞれの機能を保存しなくてはなりません。

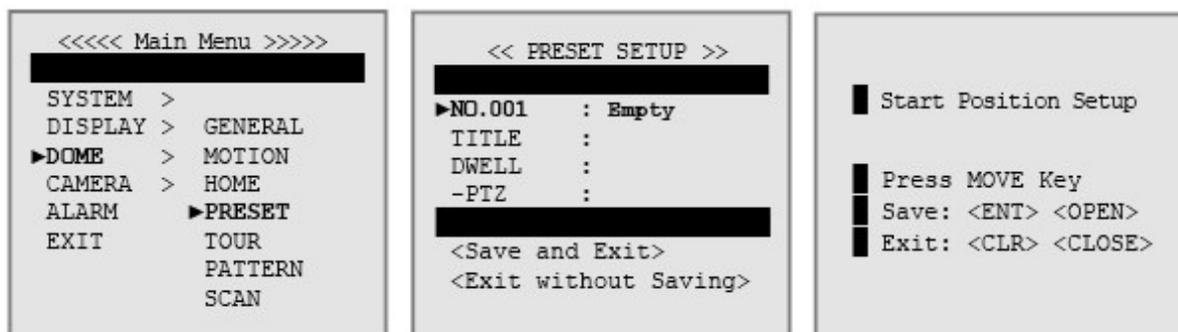
#### タイム

この機能では、ドームは、未設定のプログラムタイムの後に特定の動作を始めます。1分から240分(4時間)までホーム時間をプログラムできます。

MODE 自動的に有効な機能です。

MANUAL 機能しません

## PRESET (プリセットの設定)



このドームシステムは、**最大240ポジション**をプリセットすることができます。それぞれ設定できるのはパン/チルト/ズーム/フォーカス/アイリス情報です。

プリセットのプログラムには、次の手順を実行します

1. プリセット番号を選択
  - a. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxx.の位置にします。左右に動かしてプリセットIDを選択
  - b. 「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわしてアングルを決めます。プリセット画面が指示通りモニター上に表示されます。
2. ラベルが編集されます。このマニュアルのTITLE EDIT(タイトル編集)を参照してください。
3. 動作時間を編集。(1~230秒)

#### 4. 設定を保存.

プリセットを無効または消去

1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxx.の位置にします。左右に動かしてプリセットIDを選択。
2. 「WIDE」キーを押すかジョイスティックを反時計回りにまわして消去します。

#### 注

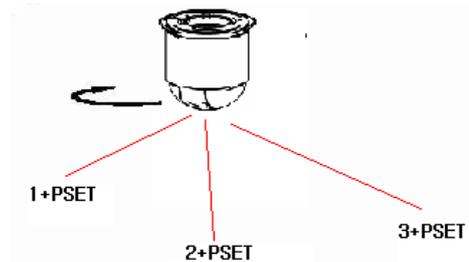
-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります。

セットした番号+

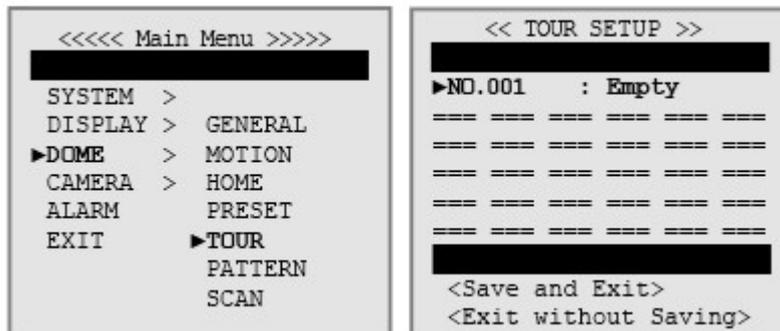


セットされた位置に移動します。



## TOUR (ツアー巡回動作の設定)

ドームシステムには、**8つのツアー**があります。それぞれのツアーには、**30の項目**があります。



各項目は事前に設定されたプリセット、パターン、スキャン、およびその他のツアーの状態を保ちます。

ツアーのプログラム

1. ジョイスティックを使ってDOMEを選択し、Tourを選択..
2. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.001 (~008).の位置にします。  
左上から順に矢印に沿って巡回動作をさせる設定(プリセットの番号、)を行います。  
1つのツアーで30項目まで巡回させられます。  
左右に動かしてツアーIDを選択。「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわして、  
動作(プリセット番号、ツアーTR番号、パターンPT番号、スキャンSC番号)を入力します。  
(ツアーが1つの場合、パターン・スキャンが設定されていない場合はTR・PT・SCはありません)  
指示通りモニター上に表示されます。
3. 特定の項目を選択する前に保存してください。

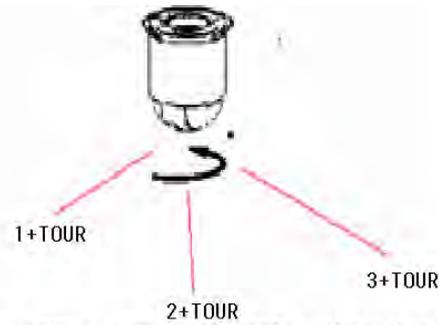
ツアーを無効または消去

1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxx.の位置にします。左右に動かしてツアーIDを選択。
2. 「WIDE」キーを押すかジョイスティックを反時計回りにまわして消去します。

セットした番号 1+



止めるにはジョイスティックを動かします。

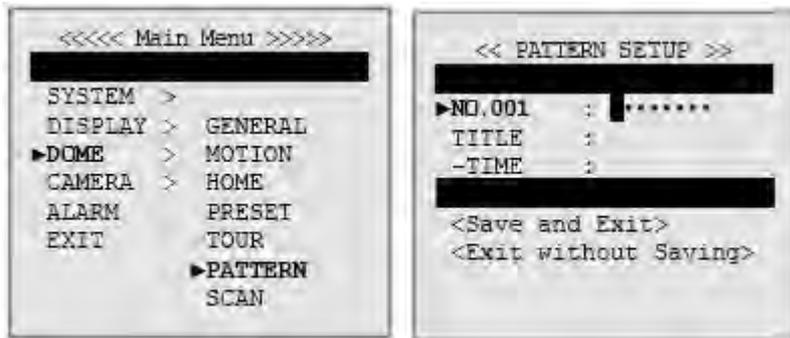


ツアー設定：ツアーの設定順に巡回動作を始めます

## PATTERN（パターンの設定）

パターンはパン・チルト・ズーム・プリセットの機能を記憶させ繰り返すシリーズです。1プログラムあたり60秒まで記憶できます。

ドームシステムは、**最大8つ**の設定パターンを持っています。



### パターンのプログラム

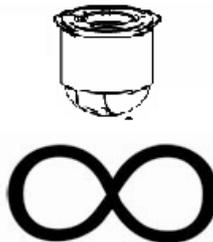
1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.001(～008)の位置にします。左右に動かしてパターンを選択(60秒以内)。「ENT」または「CLOSE」を押して決定。「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわします。
2. 指示通りモニター上に表示されます。
3. 終了するには [ENT]を押すか[IRIS CLOSE] キーを押します。キャンセルするには [CLR] または [ICLOSE] キーを押します。
4. タイトル編集:マニュアルの [TITLE EDEIT] を参照。

### パターンを消去

1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxx.の位置にします。左右に動かしてパターンIDを選択。
2. 「WIDE」キーを押すかジョイスティックを反時計回りにまわして消去します。
- 3.

ユーザーがパンチルトを使って設定した 60秒間のカメラ動きを見られる機能です。

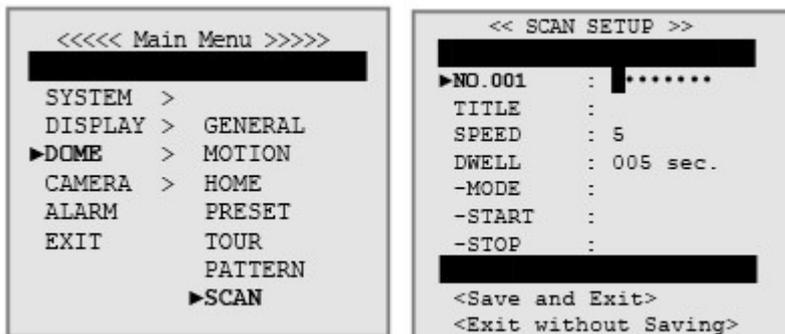
1+



止めるにはジョイスティックを動かします。

## SCAN (スキヤンの設定)

スキヤンは1つのポイントから別のポイントまでパン・チルトさせる機能です。



このドームは8つのオートスキヤンを決められます。

スキヤンのプログラム：

1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.001(～008)の位置にします。
2. 「TELE」キーを押すかジョイスティックを時計回りにまわして、視点と終点の位置を決めます
3. タイトル編集:マニュアルの [TITLE EDEIT] を参照。
4. スキヤン速度を選択します。スキヤン速度はスキヤンモードで旋回する秒あたりの度であらわします。スキヤン速度の範囲は1～9まで、規定値は5です

\*始点と終点の位置が同じのときは、走査方式は自動的にエンドレスになります。

スキヤンを消去

1. ジョイスティックを使ってカーソルをNO.xxx.の位置にします。左右に動かしてスキヤン番号を選択。
2. 「WIDE」キーを押すかジョイスティックを反時計回りにまわして消去

### 注

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

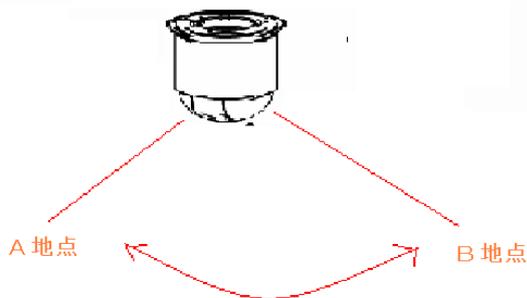
[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります

1 +



A地点とB地点を一定の速度で往復運動を繰り返します。

止めるにはジョイスティックを動かします。



## <カメラ>

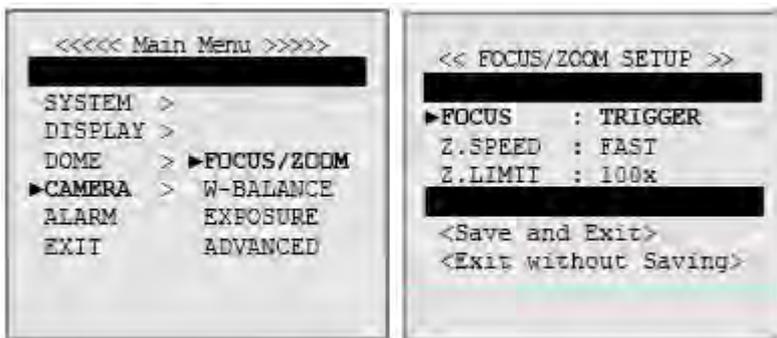
### フォーカス/ズーム

#### FOCUS(フォーカス)

3つの自動フォーカスが出来ます:

**AUTO(オート)** オートフォーカスモードがONに設定されるならカメラは自動的に焦点設定となります

**MANUAL(マニュアル)** 焦点は手で操作されます。焦点を合わすにはコントローラでNEARまたはFARキ



一を押します。

**TRIGGER8(トリガー)** (default) TRIGGER(トリガー)に設定されると、オートフォーカスはズーム機能に焦点が合います。

**\*注**

オートフォーカスは以下の状態では誤動作することがあります。。

- 非常に暗いか眩しいエリア
- スロー・シャッターが働いているとき
- コントラスト差がほとんどないエリア

### ZOOM SPEED(ズーム速度)

ズーム速度は、ドームがフルワイドズームから10倍光学ズームまでどれくらい速く行くかを決めます。既定の設定はFASTEST(最も早い)です。

### D.ZOOM (ZOOM LIMIT)(ズーム限界)

ズーム限界は、望遠レンズのズームの量の制限を決めます。既定の設定は100倍です。(光学10倍、デジタル10倍、10.20、……100倍に設定可能)

**注**

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります

### WHITE BLANCE(ホワイトバランス)

この機能は、色温度範囲上で色のバランスを良好にするために自動的にイメージを処理します。既定の設定はATWです。

ホワイトバランスは4つのモードがあります。

**ATW**

自動ホワイトバランス。

**INDOOR**

室内向け自動ホワイトバランス。

**OUTDOOR**

屋外向け自動ホワイトバランス。

**MWB**

手動によるホワイトバランス。R(赤)かB(青)の値を変えてください。

モニター上で色が変わります。

R GAIN・・・ 画像の赤の度合いを変えます。(既定:30 度合い0~99)

B GAIN・・・ 画像の青の度合いを変えます。(既定:40 度合い0~99)

**AWC**

ホワイトバランスモードがAWCのときには、ジョイスティックで現在のホワイトバランスを押して、次にジョイスティックを開放して、現在のホワイトバランスをロックしてください。

**\*注**

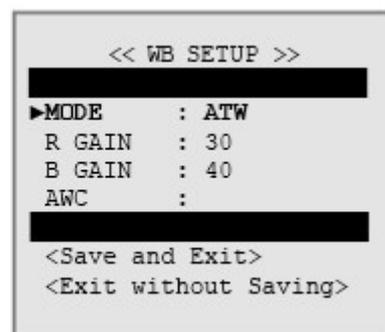
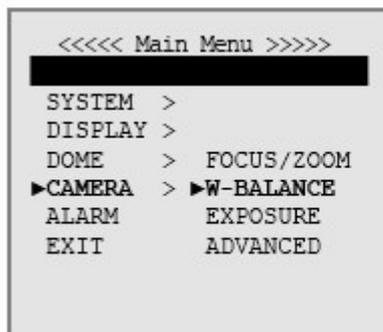
オートホワイトバランスは以下の状態では誤動作することがあります。

- 非常に暗いか眩しいエリア(晴天や夕方)
- 蛍光灯に直接向いているかいろいろな明かりのあるエリア

**注**

-前のメニューに戻るには [ENT] または [IRIS OPEN] キーを押します。

[Esc] または[IRIS CLOSE]キーを押すと、設定保存や時間保存をしないで前の設定に戻ります



## EXPOSURE(露光)

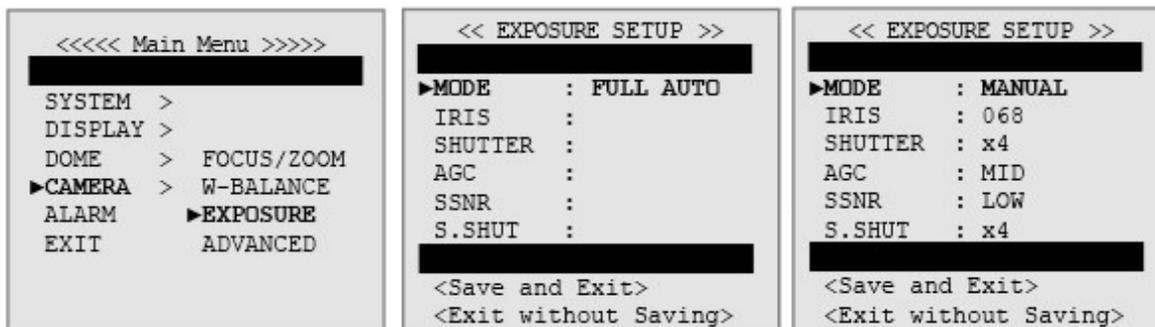
### IRIS(アイリス)

AUTO(自動) 入光条件が変わると、自動的にアイリスを開いたり、閉じたりする機能。

MANUAL(手動) 設定は1~100まで。数が、より高くなると、増加します。

### \*注

- オートアイリスが自動モードであると、アイリスがが手動で開かれるか、または閉じられるまで、その状態のままです。パン、またはチルトされたときも、ドームは自動モードに戻ります。



### SHUTTER (FLICKERLESS) シャッター(フリッカーレス)

シャッター速度は電子シャッターの持続時間です。自動的(AUTO)または手動(Numeric Value)で作動させるには、シャッター速度を決めてください。

AUTO (既定) 電子シャッター速度はカメラによって感じられた光量によって自動的に設定されます。

NUMERIC VALUE(数値) 数が大きければ大きいほど、電子シャッターは、より速く作動します。シャッター速度を増加させると、光感受性が下げられて、速く動く物の撮像は抑えられます。

### \*注

- 50Hzの環境でNTSCカメラを使用している場合、FLICKERLESS(フリッカーレス)にシャッター速度を決めてください。これは画像のチラツキを防ぎます。

### AGC(AUTOMATIC GAIN CONTROL)オートゲインコントロール

AGC(自動ゲイン制御)は画面の明るさを調整します。

数が、より高くなるのに従って、明るさは増加します。(既定はMID:中間)

### SSNR

SSNRはデジタル雑音減少の特性を機能させます。

3つの設定があります:

LOW/MIDDLE/HIGH (既定: LOW:低い)。

ゲインレベルが、より高いときに、SSNRは、画像を調整するためにするためにゲインノイズを減少させます。

### DSS (DIGITAL SLOW SHUTTER) 電子スローシャッター

入力輝度レベルが暗過ぎるときに、スロー・シャッター機能は自動的に設定されます。

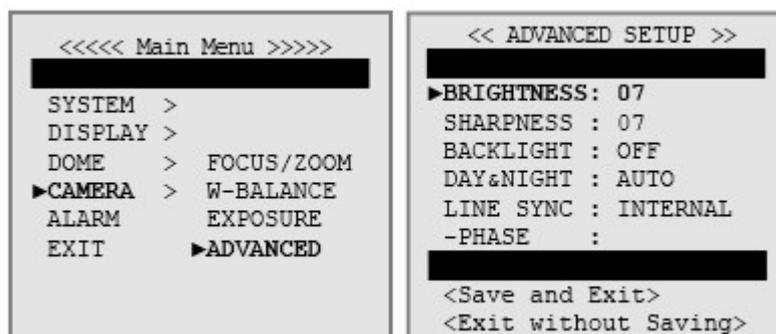
## ADVANCED SETUP(カメラ設定)

### BRIGHTNESS (輝度)

設定は1~16まで。数の増加は、より高くなります。

### SHARPNESS鮮明度

設定は1~16まで。機能アップすると、カメラの開口部を上げて、画像の縁を鋭くすることによって、詳細に描写します。



## BACKLIGHT(BLC)バックライト

バックライトは画像のセンターで映りを向上させます。

ドームは、アイリスを調整するのに画像のセンターを使用します。明るい光源がこの領域の外にあれば、それは白に洗い落とします。カメラがアイリスを調整するので、感度の高いエリアの物体は露出されます。

OFF(既定) バックライト機能は作動しません。

LOW/MIDDLE/HIGH バックライト機能は動作します。

## DAY & NIGHTデイナイト

AUTO/AUTO 2

輝度のレベルによってデイナイト機能のフィルタは自動的に切り換えられます。

## LINE SYNCライン同期

ライン同期はマトリクスシステムを使って、すべてのカメラを同期させることができるプログラム機能について参照します。

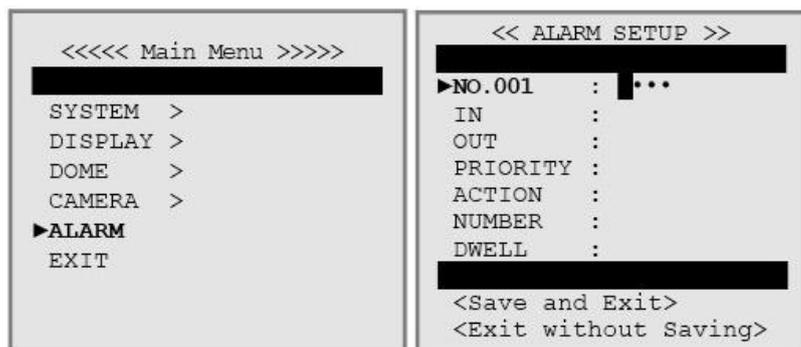
## ALARM アラーム

IN (アラーム4チャンネル入力)

NO 標準オープン

NC 標準クローズ

OUT (アラーム1チャンネル出力)



1. “No.001”に行くには⇒ジョイスティックを時計回りにまわす。  
キャンセルは反時計回りにまわす。
2. “In”に行くには⇒NO 又は NCに設定
3. “out”に行くには⇒ “001”に設定するか offにする  
- “001”は “ON”入力を意味します  
- OFF(既定): 動作無し.
4. PRIORITY 優先順  
アラーム1.2.3.4に優先順を設定できます。
5. ACTION アクション  
アラームイベントの場合には、プリセット・パターン・スキャン・ツアーに行ってください。
6. Number 数  
各メニューで既に課されているプリセット・パターン・スキャン・ツアーの数を意味します。
7. Dwell ドエル  
音のリングの長さ、またアクションイベントの長さを表します。
8. To save. 保存
9. アラームを無効  
\* アラームイベントを取り消す場合はジョイスティックを動かして “No. xxx” (アラームナンバー)に行ってください。Press the <WIDE> ボタンを押すかジョイスティックを反時計回りにまわす。  
ジョイスティックがまわされるとアラーム設定は10秒間止まります。

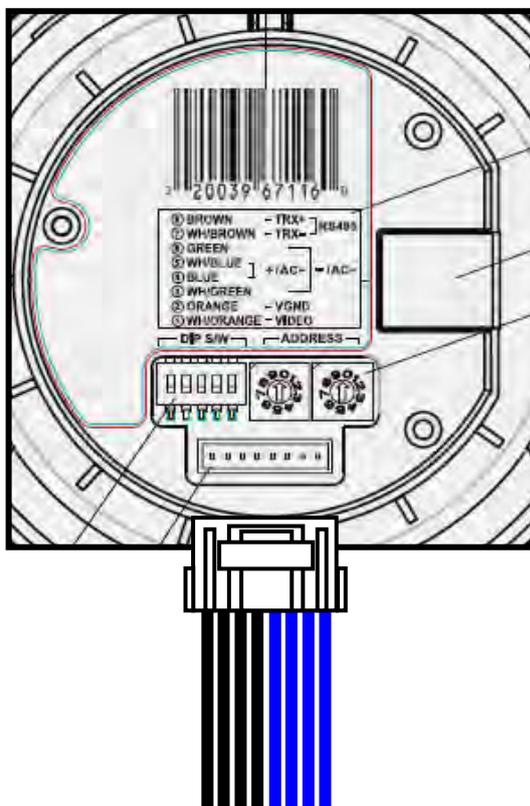
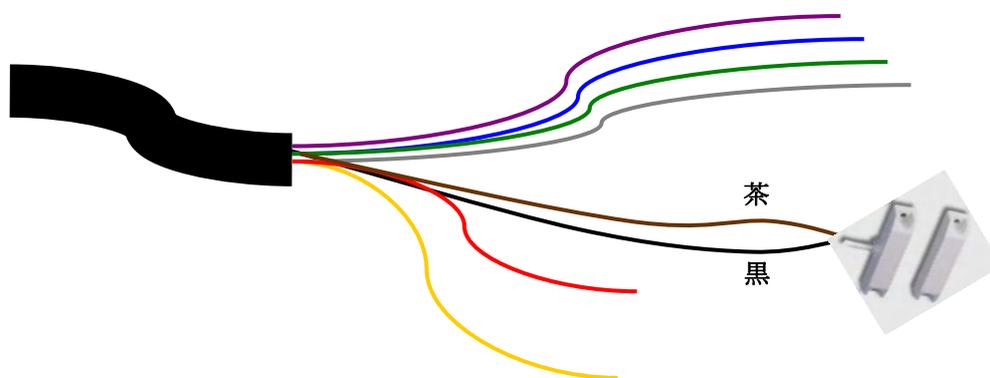
10x 屋外ケーブル

No.	名前	コメント
1.茶	アラーム 1	アラーム in
2.赤	アラーム 2	アラーム in
3.オレンジ	アラーム 3	アラーム in
4.黄	アラーム4	アラームin
5.黒	GND(グラウンド)	アラーム in/ アラーム Out
6.緑	NO	アラームout
7.青	COM	アラーム out
8.紫	NC	アラーム out

アラーム入力方法の概要Alarm input schematic method

( 例: アラーム 0 )

例) NO 又は NC タイプの磁気センサー



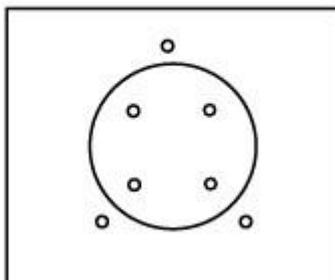
ハウジング : (25048HS-08 + 25045TS)

## ＜天井直付け実装用＞

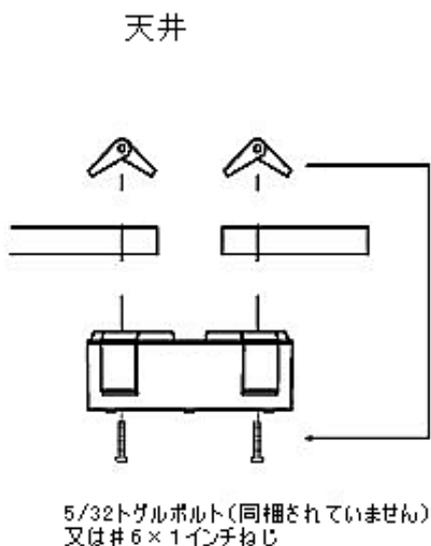
### 表面に実装

1. 指定されたテンプレートで円形の部品に穴を開けます、指定されたテンプレートです。(図4参照)。円形のテンプレートを使用して、天井に穴を通すか、0.25インチ(6mm)の深さの穴を開けます。

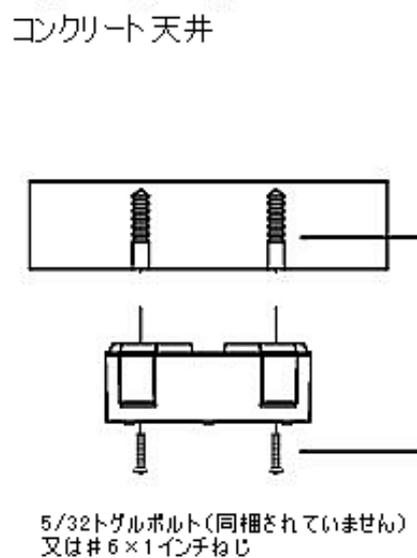
＜図 4. 円形のテンプレートで穴を開ける＞



2. 天井の場合、図5のようにドリルで穴を通して装填します。また、コンクリートなどの天井の場合は図6のようにスタッド穴を開けて装填します。



＜図 5.＞



＜図 6.＞

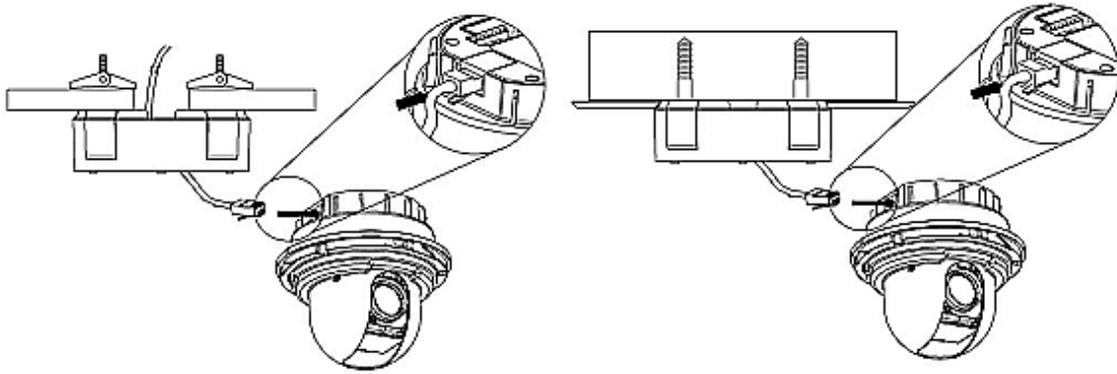
3. ケーブル接続(図7参照)

ドームの上部の交換コネクタに、付属のインタフェースケーブルのオスRJ45コネクタを接続します。(図6)そして、ケーブルのもう一方の端にケーブルを接続してください。

または、付属のRJ45コネクタをケーブルとプラグに接続することができます。

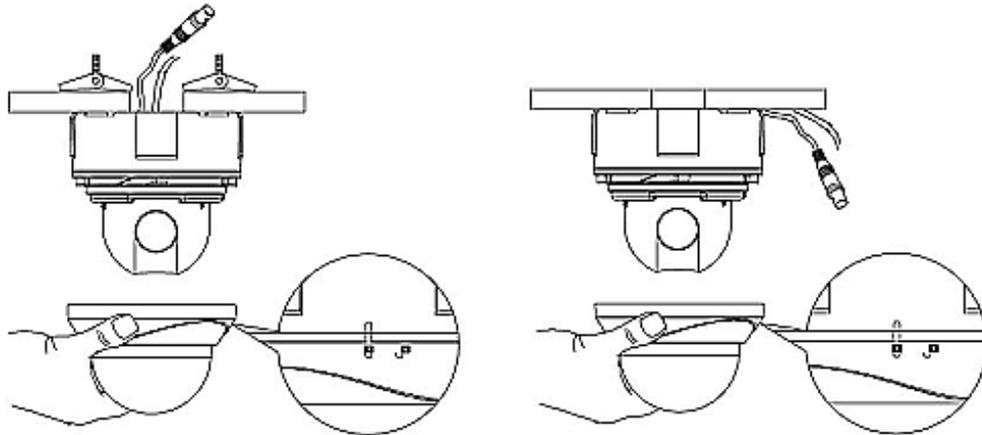
配線の接続については表D表E、および表Fを参照してください。  
ビデオには非シールドツイストペア(UTP(表D参照))または同軸ケーブル(表Eを参照)を使用して接続することができます。

同軸ケーブル用BNCコネクタはドームドライブに接続できます。



<図7. 天井へのケーブル接続>

4. ドームドライブにあるスロットに、トリムリング上のタブを取り付けます。  
 所定の位置にトリムリングとドームカバーを取り付けます。図8と図11を参照してください。

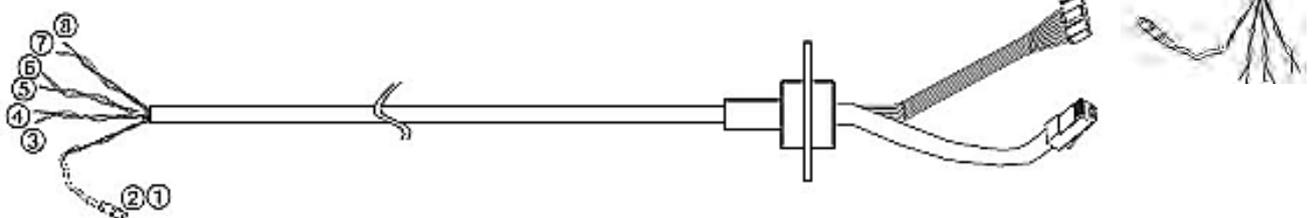


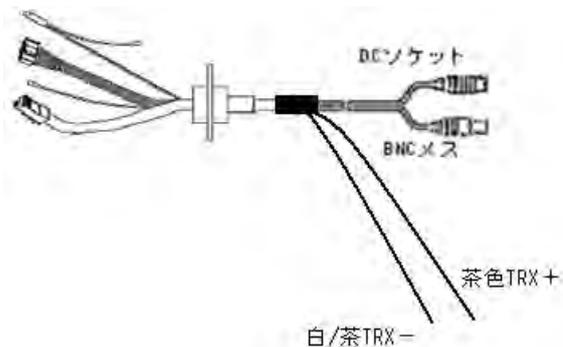
<図 8. 所定の位置にドームカバーとトリムリングを取り付け

<表 D> ケーブルの仕分け

ピン	色	機能
1	白/オレンジ	ビデオ
2	オレンジ	ビデオ-グラウンド
3	白/緑	AC-/DCグラウンド
4	青	AC+/DC12V+
5	白/青	AC+/DC12V+
6	緑	AC-/DCグラウンド
7	白/茶	TRX-
8	茶	TRX+

- ケーブル荷重770g以上

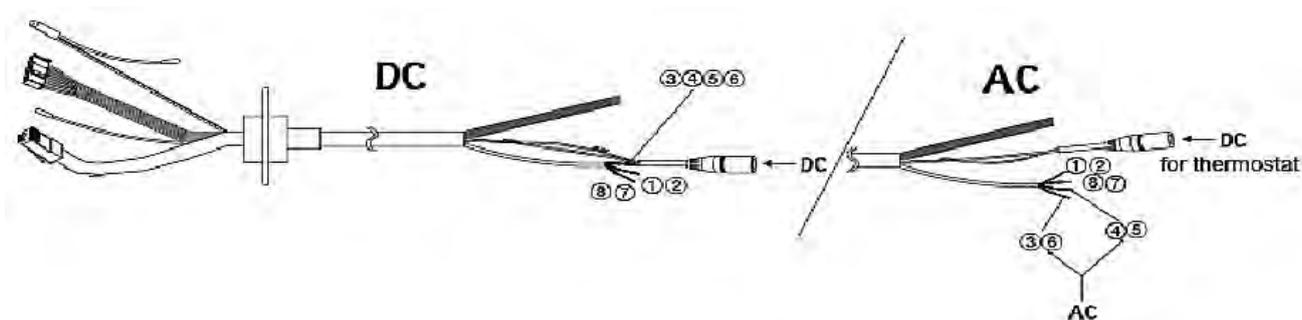




実機ではケーブルはDCソケットとBNCメスソケットに仕分けられており、ほかに通信TRX±ケーブルが出ています。

DCソケット入力にはヒート電源も入力されます。

AC24Vで接続する場合は以下図の仕分けをしてください。



AC24Vを使う場合は最大距離の10パーセントの電圧降下がします。

(10パーセントは、駆動させるのに最低限の許容電圧降下です。)

消費電力は21VAです。

最小21VAの容量の電源を使用します。

<表 F 配線距離>

ボルトテージ	ワイヤーゲージ			
	18 (1.0mm)	16	14	12
AC24V	215ft	341ft	542ft	863ft

## 天井への設置

1、指定のテンプレートを使ってドームドライブの穴を天井に開けカメラを実装します。電源・ビデオ・制御ケーブルを天井へ引きます。

2、表面実装リングをドームドライブから次のように取り除きます。図2を参照してください。

- 表面実装リングの両サイドの円形の位置に指を置く。表面マウントの両側にを置いて位置に配置指。
- 両側をつまむ。
- 引き上げて、ドームドライブから実装リングを削除します。

3、ケーブルを接続

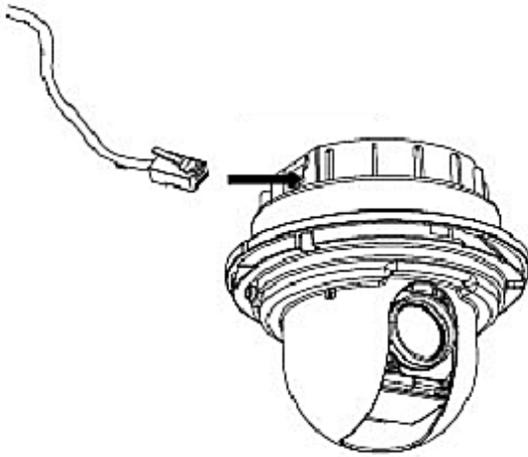
ドームの上部の交換コネクタに、付属のインタフェースケーブルのオスRJ45コネクタを接続します。(図7)そして、ケーブルのもう一方の端にケーブルを接続してください。

または、付属のRJ45コネクタをケーブルとプラグに接続することができます。

配線の接続については表D、表E、および表Fを参照してください。

ビデオには非シールドツイストペア(UTP(表D参照))または同軸ケーブル(表Eを参照)を使用して接続するこ

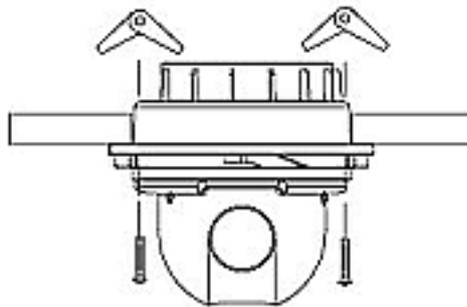
とができます。同軸ケーブル用BNCコネクタはドームドライブに接続できます。



<図 9>

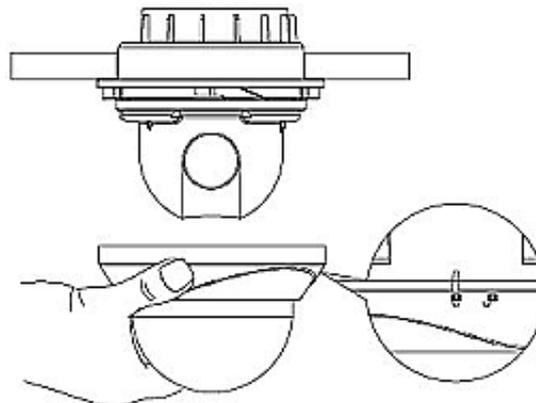
1. 3箇所の1-8トグルボルトで天井にドームドライブを取り付けます。  
(付属品)はありません。図10

<図 10. 天井にはめ込みます>



2. ドームドライブにあるスロットに、トリムリング上のタブを取り付けます。  
所定の位置にトリムリングとドームカバーを取り付けます。  
図11を参照してください。

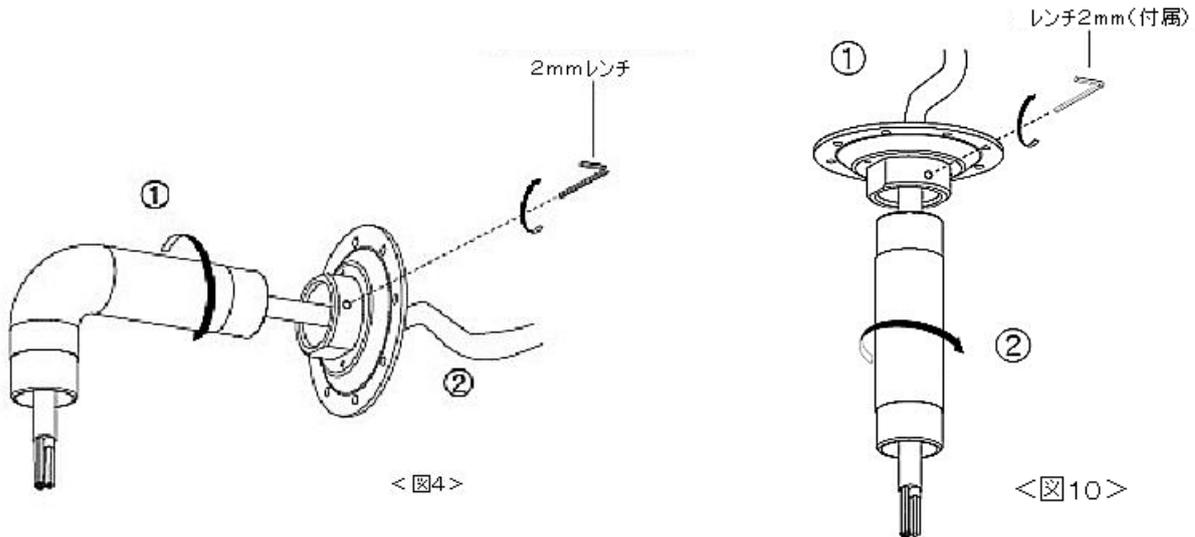
<図 11>



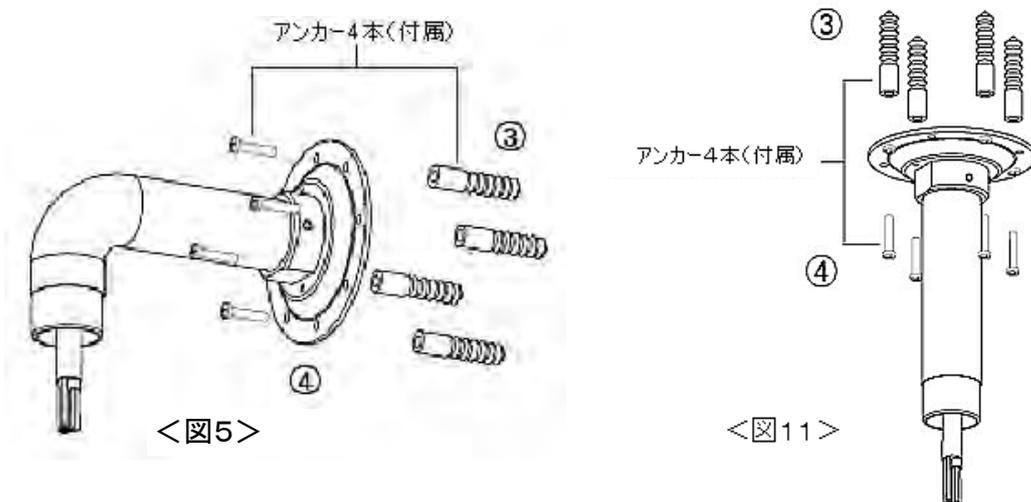
## ＜屋内外・壁付け/天吊実装用＞

### 壁付け実装・天井実装(屋外/屋内)

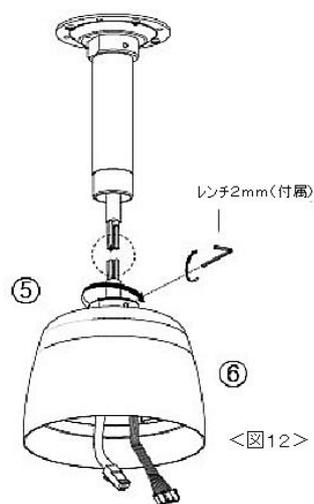
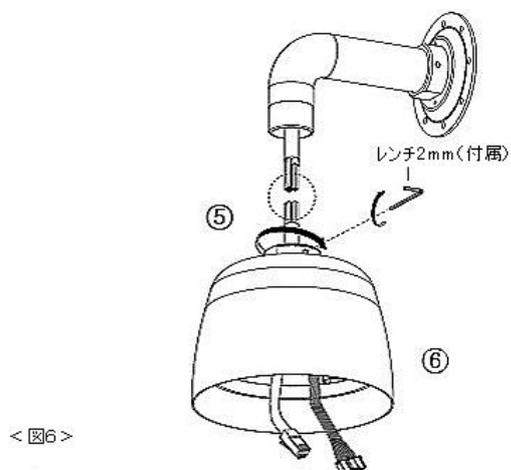
1. 図4(天井は図10)に示すように、ケーブルを取り付け面のパイプの中を通す。
2. しっかりと取り付けブラケットにパイプをマウントします。



3. 取付面にマークを付けて取り付け穴を開けます。図5(天井は図11)に示すように、取付け穴の準備をします。
4. 壁の取り付け穴に対して、安全な4つのステンレス製アンカー(付属)でブラケットを固定します。

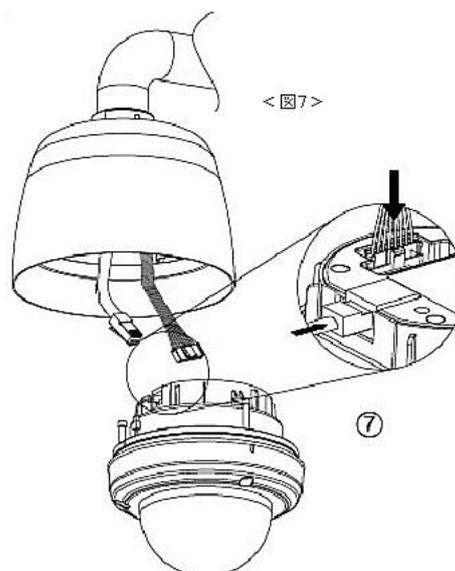


5. ケーブルを図6(天井は図12)のように接続します。
6. 壁付けパイプにしっかりと固定します。

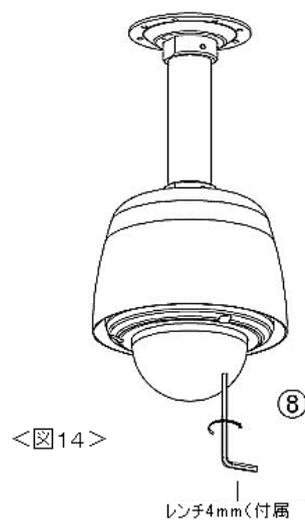


7. 図7のように、ドーム上に交換コネクタとRJ45オスのコネクタとアラームコネクタを接続します。

ケーブル接続は9頁の「天井へのケーブル接続」と同じです。



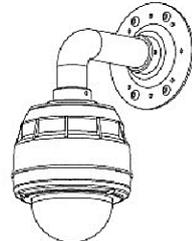
8. 図8のように、指定された六角レンチを使用して、3つのステンレスファスナー(トリムリングとともに)をとめる。



## 9. 壁付け実装



<図9.1>  
壁付け実装(日よけ有り)



<図9.2>  
壁付け実装(日よけ無し)



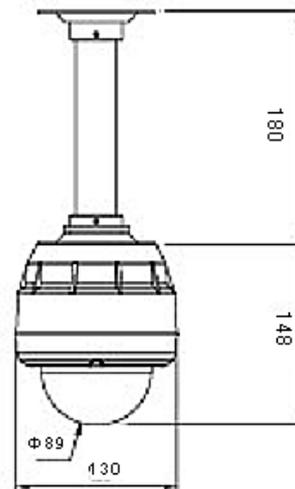
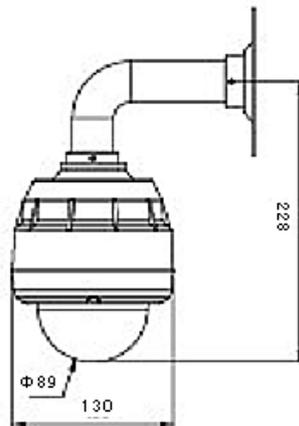
<図15.1>  
天井取付(日よけ有り)



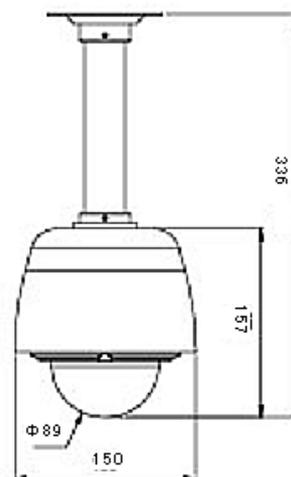
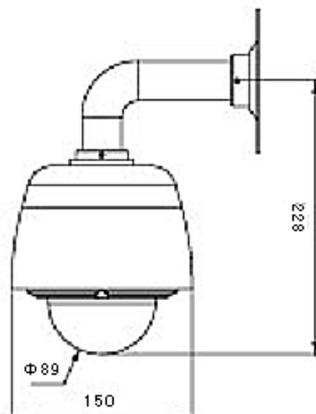
<図15.2>  
天井取付(日よけ無し)

## 図面

### 日よけ無し



### 日よけあり



## 仕様

仕 様		
カメラ	撮像素子	1/4" 内部同期転送 CCD
	レンズ	ボードレンズ(F=3.6mm)
	ズーム	光学10倍/デジタル10倍
	最低焦点距離	1,000mm
	有効画素数	768(H)×494(V) 38万画素
	インターレース	2:1
	同期方式	内部同期
	解像度	500TVライン(カラー)/570TVライン(白黒)
	S/N比	50dB以上(AGC Off)
	最低照度	カラー0.7Lux(F=1.8)、白黒0.02Lux(F=1.8)
	デイナイト	自動1、自動2、カラー、モノクロ
	ホワイトバランス	ATW/AWC/手動(1,800° K~10,500° K)
	遠隔操作	RS-485ボードレート 2400/4800/9600/38400bps
	映像出力	CVBS : 1.0 Vp-p (75Ω)
ドーム	横回転&速度	0°~360° 連続回転/0.1°~400°/秒
	縦回転&速度	-2°~90° / 0.1°~300°/秒
	プリセット速度	最大400°/秒
	プリセットポジション	1~240 ポジション
	モーション検知	On/Off(8ゾーン、アラーム出力)
	グループ移動	1~8 グループ移動
	パターン	1~8 パターン(960 秒記憶)
	オートスキャン	1~8 スキャン(速度と対角線でスキャン可能)
	フリップ	自動フリップ(On/Off)
	プライバシーゾーン	6 プライバシーゾーン(4 グループ)トータル24 プライバシーゾーン
	アラーム	4 入力/1 出力
	カメラ ID	1~255
	OSD	カメラID、パン/チルト角度設定、フリップ、ズーム
	環境	動作温度環境
動作湿度環境		RH90%↓(結露なきこと)
保管温度		-20°C~+70°C
ヒーターブロー		なし
一般	認証	CE, FCC, VCCI, RoHS, IP67
	色	アイボリー
	電源	DC12V、AC24V(オプション)
	消費電力	1000mA
	サイズ	Ø125 x 129.4mm (3.5インチドーム)
	重量	780g

カメラ

ドーム

環境

一般

- \* 高精細解像度 38万画素 560TVライン
- \* DCオートアイリスパリアフォーカルレンズ(2.8mm-12mm)
- \* レンズは上下90° 左右に360° 回転
- \* インテリア感覚のデザイン、コンパクト設計
- \* 画素コントロールWDR機能の採用による強力な逆光補正
- \* DNR(電子ノイズ消去機能)搭載
- \* 電子感度アップ256倍で0.0004Luxの最低照度

# 保証書

保証期間 お買い上げ月より12ヶ月間有効です

型番	
シリアル番号	
ご購入日	
ご購入店	
お客様	お名前
	ご住所
	TEL (                      )                      —

## お願い

本保証書は、記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理または交換補償が受けられません。  
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。  
取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本保証書をご持参ご提示の上、弊社までご依頼ください。



株式会社 NSK

〒461-0004 名古屋市東区葵1-16-28  
TEL 052-935-6833 FAX 052-935-6835

## 保証規定

- 1) 本保証書は保証期間中、本商品の保証をするものです。  
付属品類は保証の対象になりません。  
この期間に正常に動作しなくなった場合は、弊社の判断で無料修理、または新品と交換します。  
修理のため交換された部品または製品はお返しできません。
- 2) 取替えにかかる費用及び配送費はお客様負担とさせていただきます。  
弊社の電気工事業者が必要な場合は実費請求させていただきます。
- 3) ご購入後自己修理されますと、通常状態で誤作動を起こす可能性があります。修理が必要の際はCS技術センターにお問い合わせください。
- 4) 次の場合は、保証期間内であっても保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
  - (1) 本保証書のご提示がない場合。
  - (2) 本保証書に所定事項の記入がない場合、または書き換えられている場合。
  - (3) 使用上の誤り(取扱説明書に沿わない誤作動など)による故障。
  - (4) 弊社以外で行われた修理・改造・分解・掃除などによる故障
  - (5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、落下、公害、異常電圧による故障。
  - (6) 他人または自己の故意または不注意による落下・損傷による故障
  - (7) 取扱説明書に記載の使用方法に反するお取り扱いによる故障または損傷
- 5) デジタルレコーダーで記録された画像は、予め決められた映像管理者又は管理責任者が、外部流出又は目的外使用されないよう厳重な管理をお願いします。  
弊社は、万一、記録された画像が流出して損害が発生しても一切責任は負いませんのでご注意ください。

## お願い

本商品の取扱説明書の内容の一部または全部を弊社の許諾無しに複製することは出来ません。

本商品は将来改良のため予告無しに変更することがございます。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

使用方法は取扱説明書に詳しく記載していますので、使用に際しては充分ご覧ください。